

令和6年度 外務大臣表彰（1）

日本人受賞者の紹介

外務大臣表彰は、日本との友好親善関係の増進に特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるものです。令和6年度は当協会東京本部の推薦により小笠原欣幸氏、日華青少年交流協会が、台北事務所の推薦により玉蘭荘（社団法人台北市松年福社会）、東呉大学日本語文学科が、高雄事務所の推薦により潮音寺管理委員会、バシー海峡戦没者慰霊祭実行委員会が受賞されました。ご功績に対し、衷心より敬意と感謝を表します。

今号では、東京本部推薦の2名をご紹介します。

小笠原欣幸 東京外国語大学名誉教授、台湾・清華大学荣誉講座教授

功績概要：日本と台湾との相互理解の促進

1996年から直接公選制となった8回の台湾總統選挙を研究。現地調査とデータ分析を組み合わせた結果予想は「選挙の神様」と呼ばれるほど高い的中率を誇り、その研究結果は選挙分析の域にとどまらず、台湾政治情勢、民意、安全保障等を踏まえたものとなっている。研究成果をまとめた『台湾總統選挙』は樫山純三賞学術書賞及びアジア・太平洋賞特別賞を受賞、『ニューズウィーク』日本版2023年8月15・22日号の「世界が尊敬する日本人100」で紹介され、同人の著書や研究成果は日本における台湾研究に寄与。

受章のことば

このたび外務大臣表彰をたまわり誠に光栄に存じます。台湾研究を始めてちょうど30年の節目

の年に、これまでの研究が日本と台湾との相互理解の促進につながると評価していただき、殊の外うれしく思います。ご指導をいただいた先生方、様々な形で力を貸してくださった日台の皆さまに感謝を申し上げます。

1991年4月に東京外国語大学で教員生活を始めた時はイギリス政治が専門でした。しかし、アジアのことをわかっていないことが気になり、ちょうど日本の隣で民主化を成しとげた台湾の政治も知っておきたいと考えました。

1990年代の前半は、冷戦が終結し世界が大きく動いていました。中国は天安門事件で政治改革の動きは頓挫しましたが、いずれは民主化していくという見方が一般的でした。一足先に民主化した台湾を知っておけば、将来の中国の民主化の理解にも役に立つと虫の良いことを考えました。

地域を研究するにはその地域に留学し言語をマスターしなければいけないというのは大学院時代に学んだことです。イギリスには院生時代に3回留学し約3年住んでいました。当時は台湾情勢も日台関係もほとんど何も知りませんでした。台湾への留学と中国語は当然必要と考えました。35歳で新たな研究テーマと言語の学習を始めたわけです。

海外研修の許可を得て台湾に渡ったのが1994年4月、初めて台湾の土を踏みそのまま1年滞在しました。その滞在中に出会ったのが台北市長選挙でした。李登輝政権下で民主化が進展、民選となった台北市長選挙は大変な盛り上がりで、この選挙が私の研究者人生を定めたといえます。

当初はイギリス政治の研究も続けるつもりでしたが、まったく甘い考えでした。台湾は知れば知

るほど奥が深く、なかなか研究業績が出せませんでした。納得できる論文が書けたのは台湾研究に足を踏み入れてから10年後。その後はコンスタントに選挙ごとに学会で発表し論文を執筆しましたが、台湾選挙研究を1冊の本にまとめることができたのは台湾研究を始めてから25年後の2019年です。

台湾での現地調査では、何もわかっていない日本人学者に台湾の人々が親切に解説してくれました。本当にありがたかったです。この30年、日台関係が静かに発展していくのを現場で体感できたこともプラスになりました。

時間はかかりましたが、おかげで台湾政治の構造を十分把握して選挙を分析する方法論が固まり、それを使って台湾の総統選挙の予測もかなり正確にできるようになりました。選挙情勢の分析は、日本でも台湾でも注目してくださる人が増え、研究者として大きな励みになりました。

2023年3月、東京外国語大学を定年退職し、ゆっくり台湾政治の観察を続けようと思っていた矢先、台湾の清華大学から招聘の声がかかり、2024年8月、荣誉講座教授として同大に着任、現在、台湾の新竹市の大学宿舎で生活しながら、「台湾の政治と選挙」(講義)と「台湾選挙研究」(ゼミ)の授業を行なっています。

日本の学生に「台湾政治」を教えるのとは異なるので、毎週授業準備に追われている状況ですが、

台湾の学生に向けて30年の研究成果を共有する素晴らしい機会が得られたことを大変うれしく思っています。この機会を大切に、引き続き日台の相互理解に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

日華青少年交流協会

功績概要：日本と台湾との相互理解の促進

1987年の設立以来30年以上に亘り、東京での大学生中国語スピーチコンテスト及び台湾での大学生日本語スピーチコンテストを実施。大会の成績優秀者や試験合格者各12名前後を台湾と日本それぞれ双方に派遣して研修を実施。日本政府や台湾当局の関係機関や文化施設の訪問、現地の大学生との交流等の機会を提供している。実際に同研修に参加した学生が日台友好促進に寄与する仕事に就く等、日台間の青少年交流の促進・人材育成・架け橋人員の育成に多大なる貢献をしている。

受章のことば

この度は日華青少年交流協会が外務大臣より表彰されましたことを大変光栄に存知します。この受賞に際しまして特に私共をご推薦頂きました日本台湾交流協会並びに私共の活動実施に平素よりご協力を頂いております日本と台湾の公的機関、民間団体皆様のご協力に対し謹んで御礼を申し上げます。



ます。

日華青少年交流協会は1987年の設立以来30年以上に亘り、日本と台湾に於いて中国語及び日本語スピーチコンテストの開催、また日本と台湾大学生を日本と台湾の双方に招聘する訪問研修団等の日台青少年による交流活動を実施しています。特に大学生による台湾と日本を相互訪問する研修活動では過去に参加した団員らが今日、日本及び

台湾の公的機関で外交に関わる仕事に従事する等しており、今後もこの青少年交流活動が日台交流人材の育成及び交流促進の一助になれば幸いに思います。

今後も日華青少年交流協会では微力ながら日台交流促進に尽力して参る所存です。

引き続き皆様のご支援をよろしくお願い致します。